

## 1 組織

- (1) 都立豊島高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、経営企画室長、担当教諭 計3名
- (3) 内部委員の構成  
校長、定時制副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主幹、進路指導主任 計6名
- (4) 協議委員の構成  
学識経験者、地域関係機関の代表、地元中学校副校長、同窓会長、PTA会長、PTA副会長 計6名

## 2 令和2年度学校運営連絡協議会の概要

### (1) 第1回の学校運営連絡協議会

日 程 令和3年7月

会 場 書面開催（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

出席者 （書面開催のため、出席者なし）

内 容 外部委員・評価委員の委嘱、協議会の趣旨、令和3年度学校経営計画、学校紹介（現状と課題・目標）、年間予定、学校評価、防災教育、新型コロナ感染拡大防止対策、新校舎の状況等について

### 第2回の学校運営連絡協議会

日 程 令和3年11月22日（月）16:00～17:00

会 場 本校応接室

出席者 内部委員5名、協議委員4名

内 容 教育内容の紹介・進捗状況、学校評価、学校紹介（現状と課題・目標）の中間報告等について

### 第3回の学校運営連絡協議会

日 程 令和4年3月

会 場 書面開催（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

出席者 （書面開催のため、出席者なし）

内 容 学校評価 教育内容の総括 まとめと課題（協議委員より学校への提言を含む）等について

### (2) 評価委員会の状況

日 程 令和3年11月22日（月）15:30～16:00

会 場 本校応接室

内 容 質問項目を事前に郵送。電話・郵便で意見交換。第2回の協議会の前に委員会を設定し、最終確認。アンケート集計結果を委員に送付し、書面にて意見集約しまとめた上で、学校への提言を決定。

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

### (1) 学校評価の観点と主な内容

- ・生徒、保護者、教員と同様の項目について評価し、意識の相違及び昨年度からの変化に着目する。
- ・生徒の満足度について、学習指導面と生活指導面について調査する。
- ・地域には本校の評判について調査をする。

### (2) 評価方法の検証及び妥当性

回答率（回答数）については、次の通りであった。

【 生徒 100%（回答数42） HRで記入 】 【 教員 100.0%（回答数8） 打合せで配付 】

【 保護者 26.2%（回答数11） 封筒に入れ、生徒を通じ配布 】

【 地域 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため中止 】

生徒の回答数は42。回答率100%（昨年98.3%）と昨年より上回ったが、保護者の回答数は11で昨年の32を大きく下回った。

### (3) 主な評価項目

学校生活、授業、進路、行事・部活動、生活指導、読書活動、その他（校則の質問を追加・ライフワークバランスの継続）を評価項目として設定した。

#### (4) 評価結果の概要

- ・ 学校生活……「本校に入学させて良かった」との保護者の肯定的回答が昨年度より 9.3%上昇。
- ・ 授業……授業への取組、基礎・基本の重視、工夫等について、生徒の肯定的回答は昨年度と比べ平均 4.3%増加した。
- ・ 進路……「自分の将来の生き方や進路について考えている」では、生徒の半数以上が「よくあてはまる」と回答。
- ・ 行事・部活動……学校行事への参加（の意識）については、肯定的回答は生徒 2.7%増加、保護者 5.1 の減少。
- ・ 生活指導……生活指導、相談活動、きまりやマナーについての理解等は、生徒と保護者 90%、教員も 100%以上と回答。
- ・ 読書活動……生徒の図書館の利用や読書活動に関する肯定的回答については、他の設問に比べ、全体的に低い割合であるが、新校舎へ移転後の利用率は増加している。
- ・ その他……施設に関しては、新校舎前にアンケートを実施するために生徒・保護者共に昨年度に比べ肯定的回答が微増。

#### (5) 評価結果の分析・考察

- ・ 保護者の回答数の減少が影響している可能性があるが、全体的に肯定的回答が昨年度より減少している。
- ・ 授業内容の理解について、生徒と保護者の肯定的回答は増加している。教員の授業に対する工夫などが評価されている。
- ・ 「将来に対する進路の指導が丁寧に行われている（と思う）」では、生徒・保護者・教員の三者共に昨年と同様に 7割以上が肯定的回答をしており、本校のキャリア教育に対する一丸となった前向きな取組姿勢がうかがえる。
- ・ 新校舎前にアンケートを実施しているため、来年度の学校評価アンケートにどのような影響を与えるかを注意深く見ていく。

### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題

#### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・ 内部委員と協議委員との意見交換の機会が得られ、客観的な意見や提言を頂くことができた。
- ・ 本校の生徒への支援体制の更なる充実の必要性和、社会環境の変化への対応について貴重な御意見を頂いた。

#### (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・ コロナ禍における ICT機器の配備や環境の整備が小学校や中学校でさらに進んでいる。これらを教師が活用できるよう、指導力と基本となる技術を身に付けていくことが求められている。
- ・ コロナ禍における行事の在り方については、昨年と同様に学校行事が以前のようにできない状況である。新しい学校行事の在り方、開催方法やクラスターを発生させないための新型コロナウイルス感染症拡大防止策を考えていくことが必要ではないか。

### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

#### (1) 学校運営

- ・ 教育活動を周知し理解を得るため、生徒・保護者、中学生、近隣住民、地域の若者サポート施設等に、広報活動として学校だよりや学校案内等の郵送や訪問、ホームページ等を活用し、情報を発信する。
- ・ コロナ禍における新しい生活を送るため、不織布マスクの着用、手洗いの励行、手指消毒など、機会を捉えてその都度指導していく。

#### (2) 学習指導

- ・ 基礎基本の定着を図り理解をさらに深めるため、従来の教育に来年度導入される一人 1 台端末やオンライン授業の活用による学びの機会を充実していく。

#### (3) 特別活動

- ・ 教員の支援を強化し、行事に対する生徒の意識を高め主体的な運営をサポートする。

#### (4) 生活指導

- ・ 教育相談の視点を取り入れた生活指導を展開するとともに、生徒の規範意識醸成のため注意の継続を行う。

#### (5) 進路指導

- ・ 進路指導部、担任、Y S W、自立支援担当との連携による進路指導を充実し、低学年からのキャリア教育を促

す。また、外部機関とのさらなる連携を図り、生徒の進路実現につなげる。

(6) 健康・安全

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、日々の学校生活を安心して送るための意識を高める。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 6人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数5人

| そう思う | 多少そう思う | どちらとも言えない | 余りそう思わない | そう思わない | 分からない | 無回答 |
|------|--------|-----------|----------|--------|-------|-----|
| 5    |        |           |          |        |       | 1   |

※意見集約した書面からの判断。

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人

【成果】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は参加実績なし。

8 その他

- ・協議委員に教育活動をより理解していただくため、学校運営連絡協議会時に授業公開や行事の参加を実施する。
- ・保護者のアンケート回収率を更に高めるため、実施方法や回収方法、質問内容を含め検討の必要がある。
- ・評価精度の更なる向上のため、学校公開の機会を増やしていく。